

沖縄ジュゴンは生きている。 辺野古大浦湾を海洋保護区に！辺野古新基地を止めよう

Photo 大浦湾のハマサンゴ

沖縄防衛局は12月より代執行による大浦湾側の工事を始めました。現在瀬高沖での作業ヤード建設のため、砕石投入をはじめています。そして7月上旬にも、軟弱地盤改良のための砂杭打設試験を行い、8月に杭施工開始すると沖縄県に通告しました。そして大浦湾の埋め立て予定地に生息する8万4000群体のサンゴの「移植」が開始されます。サンゴの「移植」は成功事例が極めて少なく、「サンゴ殺し」の暴挙です。生物多様性に富む辺野古大浦湾を守るため、埋め立て工事を止めることが、ぜひとも必要です。

辺野古住民が、故翁長知事の遺志をうけた謝花副知事による埋め立て承認撤回を「無効」とした国土交通大臣の処分は無効と訴えた、辺野古住民訴訟で、福岡高裁那覇支部が、住民の「原告適格性」を認め、地裁で実質審理を行うよう差し戻し判決をだしました。国はこれを不服として最高裁に上告しましたが、ぜひとも高裁判決を確定し、実質審理を実現しましょう。

辺野古大浦湾を海洋保護区に！の国内外の世論を高めましょう。「沖縄を戦場にしない」活動と一つに、ジュゴンの海を守りましょう。

日時：2024年7月28日（日）

10:00 開会 12:00 閉会

場所：エルおおさか南館 71号室
大田区消費者生活センター

（東京サテライト会場）

プログラム

9:30 開場 10:00 開会

- ・海勢頭豊 共同代表のあいさつ（リモート）
- ・基調 「沖縄を戦場しない。埋め立てを止め
辺野古大浦湾を海洋保護区に（仮）（事務局）」
- ・国際担当からの報告（リモート）

休憩

- ・石垣島、与那国島訪問の報告
- ・活動報告
- ・質疑応答
- ・まとめ 決議案確認

